

2011年6月20日

日本病院薬剤師会 御中

イーエヌ大塚製薬株式会社

ワルファリン使用患者における経腸栄養剤の処方変更時の留意について

謹啓 時下益々ご清栄の段お慶び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、東日本大震災の影響により、経腸栄養剤の供給に不足が生じており、経腸栄養剤を切り替えざるを得ない状況が想定されます。

弊社「ラコール配合経腸用液」および「ツインライン配合経腸用液」は、他の経腸栄養剤と比較してビタミンK含有量が高いため、急遽ビタミンK含有量を他の経腸栄養剤と同程度にした新規の製剤「ラコールNF配合経腸用液」および「ツインラインNF配合経腸用液」を発売することにし、5月20日付で薬価収載されました（厚生労働省告示第百六十五号）。新規の製剤は7月より順次出荷される予定です。

しかし、しばらくの間

- 1) ビタミンK低含有量の経腸栄養剤から、従来の「ラコール配合経腸用液」・「ツインライン配合経腸用液」に処方変更になる患者
- 2) 従来の「ラコール配合経腸用液」・「ツインライン配合経腸用液」から新規の「ラコールNF配合経腸用液」・「ツインラインNF配合経腸用液」に処方変更になる患者が混在する可能性があります。

これらの場合、ビタミンK含有量が異なることにより、ワルファリンとの相互作用に差異が生じる可能性が否定できません。

つきましては、ワルファリン使用患者において経腸栄養剤が処方変更になった場合、経腸栄養剤のビタミンK含有量をチェックすると共に、ワルファリン投与量の設定にご留意頂いているかの注意喚起をお願いいたしたく、貴会会員にご周知下さいますようお願い申し上げます。

謹白

なお、この件に関するお問い合わせは下記までお願い申し上げます。

株式会社大塚製薬工場 輸液DIセンター：Tel 0120-719-814 または 03-5298-320